

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2003年6月27日）
運用方針	外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 バンガード・グロース・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 米国株式 バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 米国株式 バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 欧州株式 バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 新興国株式

当ファンドの運用方法	<p>■日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場（日本を除く）の動きをとらえることを目標に運用を行います。</p> <p>■ファンド・オブ・ファンズの仕組みを採用し、既に実績のあるファンドを活用することで、効率的な分散投資を行います。</p> <p>■主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券に投資します。</p> <p>■バンガードの4つのインデックス・ファンドの基本配分比率は、日本を除くグローバルな株式市場の時価総額等を勘案して、概ね以下の比率で投資を行います。</p> <table border="0"> <tr> <td>バンガード・グロース・インデックス・ファンド……</td> <td>約32.5%</td> </tr> <tr> <td>バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド……</td> <td>約32.5%</td> </tr> <tr> <td>バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド……</td> <td>約30.0%</td> </tr> <tr> <td>バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド……</td> <td>約5.0%</td> </tr> </table> <p>※時価総額等を勘案して基本配分比率は将来的に見直しを行うことがあります。</p>	バンガード・グロース・インデックス・ファンド……	約32.5%	バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド……	約32.5%	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド……	約30.0%	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド……	約5.0%
バンガード・グロース・インデックス・ファンド……	約32.5%								
バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド……	約32.5%								
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド……	約30.0%								
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド……	約5.0%								

組入制限	<p>■株式への直接投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資には、制限を設けません。</p>
------	---

分配方針	<p>■年1回（原則として毎年4月5日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>
------	--

三井住友DS・海外株式ETFファンド

【運用報告書(全体版)】

(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

第 19 期

決算日 2022年4月5日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
 お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
15期(2018年4月5日)	21,739	320	9.3	98.4	19,892
16期(2019年4月5日)	23,394	400	9.5	98.2	21,383
17期(2020年4月6日)	18,837	220	△18.5	96.7	16,708
18期(2021年4月5日)	30,230	420	62.7	97.1	26,222
19期(2022年4月5日)	35,444	540	19.0	98.3	31,594

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2021年4月5日	30,230	—	97.1
4月末	31,063	2.8	96.3
5月末	31,565	4.4	97.2
6月末	32,163	6.4	96.9
7月末	32,452	7.4	97.5
8月末	33,206	9.8	98.3
9月末	32,399	7.2	97.8
10月末	34,606	14.5	98.1
11月末	34,276	13.4	98.2
12月末	35,680	18.0	97.8
2022年1月末	33,421	10.6	97.8
2月末	33,119	9.6	98.6
3月末	36,084	19.4	97.1
(期末)			
2022年4月5日	35,984	19.0	98.3

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	30,230円
期末	35,444円 (既払分配金540円(税引前))
騰落率	+19.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

当ファンドは、主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券を通じて日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場(日本を除く)の動きをとらえることを目標に運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 米国株式市場が上昇したこと
- 米ドルが円に対して上昇したこと

投資環境について(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

外国株式市場は、米国株式は上昇した一方で、欧州株式や新興国株式は下落しました。また為替市場では、米ドルは円に対して大幅に上昇しました。

米国株式市場

米国株式市場は、上昇しました。

期初から8月下旬にかけて、主要国の中央銀行による経済支援的な政策の継続やワクチン接種の進展に伴う景気回復に対する期待等を背景に、株式市場は堅調に推移しました。

9月上旬から10月上旬にかけて、軟調な雇用統計やFOMC(米連邦公開市場委員会)で年内のテーパリング(量的緩和の段階的縮小)開始が示唆されたことを背景に下落しました。その後は企業業績が概ね予想を上回る決算となったことで、再び大きく上昇しました。

しかし、11月中旬から1月下旬にかけては、変異ウイルス感染拡大への警戒感や米国長期金利の上昇等を背景に上値が重く、更に3月中旬にかけては、米国金融政策への警戒感やロシアのウクライナ侵攻を受けた地政学リスク等を背景に下落しました。期末にかけては、原油価格の急騰が一服したことやウクライナとロシアの停戦協議に対する期待感から上昇しました。

欧州株式市場

欧州株式市場は、小幅下落しました。

期初から年末にかけて米国市場に連れる形で推移し、ECB(欧州中央銀行)が金融緩和政策を当面維持するとの見方も安心材料となり大きく上昇しました。しかし、1月から3月中旬にかけては米国市場同様に、感染再拡大、ロシアのウクライナ侵攻に伴う地政学リスク、原油価格の上昇や金融政策の引き締め観測への警戒感の強まり等を受けて、大きく下落しました。その後期末にかけては、原油価格の急騰が一服したことや停戦協議への期待感から上昇しました。

新興国株式市場

新興国株式市場は、下落しました。

期初から5月下旬にかけては、世界の主要国・中央銀行の経済支援的な政策の継続やワクチン接種の進展に伴う景気回復に対する期待等を背景にリスク・オン(リスク選好)の動きが強まり、新興国株式にも資金が流れ堅調に推移しました。しかし、8月中旬にかけては中国当局の企業活動への統制を強めたことを背景に下落しました。

その後2月中旬にかけて、好調な企業決算動向や景気回復期待から一時的に上昇しました。しかし、中国不動産大手のデフォルト(債務不履行)懸念や感染拡大への警戒感等を背景に下落基調となりました。更に3月中旬にかけては、地政学リスクを受けて大きく下落しました。しかし期末にかけては、原油価格の急騰が一服したことや停戦協議への期待感を受けて上昇しました。

為替市場

米ドル・円は上昇しました。

期初から9月下旬にかけては、米金利の低下等を背景に米ドルは上値が重く、もみ合いで推移しました。その後は、米国の利上げの織り込みが加速したことや、株価上昇などによるリスク選好度の改善を背景に、米ドルは上昇しました。

しかし3月上旬にかけては、ロシアのウクライナ侵攻に伴う地政学リスク等を背景にリスク回避的な動きを受け上値は重くもみ合いとなりました。期末にかけては、日米の金融政策の方向性の違いや金利差拡大観測を背景に米ドルは大きく上昇しました。

ポートフォリオについて(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

当ファンド

運用の基本方針に基づきグローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って下記の4つの投資信託に資産配分を行いました。追加設定や一部解約に伴う入出金がある場合は、保有現金残高などを考慮した上で売買を行い、組入比率の調整を行いました。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド (E T F ・ シェアクラス)

米国成長株のインデックスであるC R S P U S ラージ・キャップ・グロース・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパ

フォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (E T F ・ シェアクラス)

米国割安株のインデックスであるC R S P U S ラージ・キャップ・バリュー・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (E T F ・ シェアクラス)

F T S E 欧州先進国オールキャップ・イン

デックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)

F T S E エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第19期
当期分配金	540
(対基準価額比率)	(1.50%)
当期の収益	540
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	27,143

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

運用の基本方針に基づき、グローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って4つの投資信託に資産配分を行います。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
(E T F ・ シェアクラス)

各ファンドとも、ベンチマークとするインデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。

3 お知らせ

約款変更について

- ファンド名称を「三井住友・バンガード海外株式ファンド」から「三井住友D S ・ 海外株式E T F ファンド」に変更しました。
(適用日：2021年6月29日)

1万口当たりの費用明細(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	363円	1.100%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は33,018円です。
(投 信 会 社)	(125)	(0.379)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(223)	(0.676)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.044)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.003	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(1)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.013	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.007)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.005)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	368	1.116	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

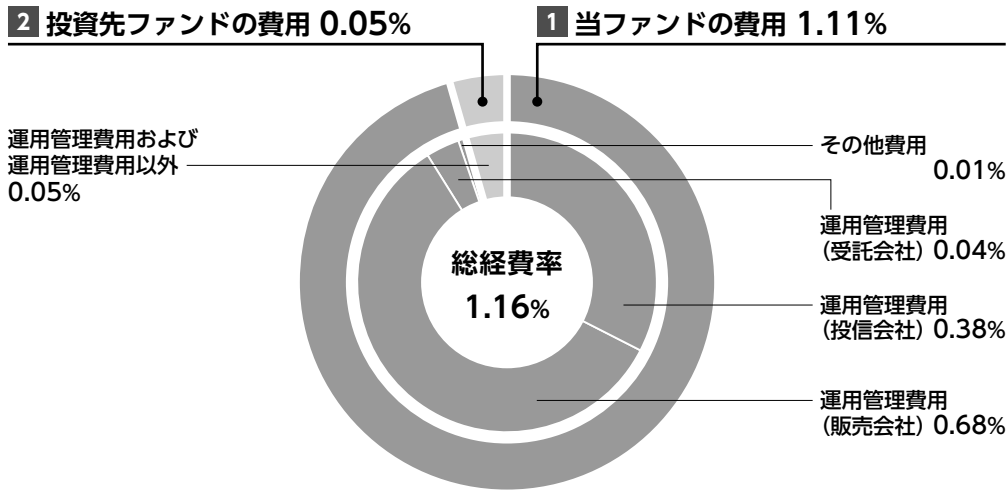
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	1.16%
1 当ファンドの費用の比率	1.11%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.05%

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.16%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	□ 72,400	千アメリカ・ドル 4,820	□ -	千アメリカ・ドル -
		バンガード・グロース・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	25,700	7,076	10,750	3,304
		バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	8,000	1,114	32,000	4,727
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・ インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	37,400	1,908	-	-

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等(2021年4月6日から2022年4月5日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年4月6日から2022年4月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2022年4月5日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・ インデックス・ファンド(ETF・シェアクラス)	1,096,944	1,169,344	73,727	9,035,998	28.6
バンガード・グロース・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	274,713	289,663	85,123	10,432,707	33.0
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	587,950	563,950	83,447	10,227,347	32.4
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・ インデックス・ファンド(ETF・シェアクラス)	197,430	234,830	11,231	1,376,583	4.4
合 計	2,157,037	2,257,787	—	31,072,637	98.3

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

■ 投資信託財産の構成

(2022年4月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円	%
投 資 証 券	31,072,637	96.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,197,976	3.7
投 資 信 託 財 産 総 額	32,270,613	100.0

※期末における外貨建資産(31,399,740千円)の投資信託財産総額(32,270,613千円)に対する比率は97.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=122.56円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年4月5日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	32,270,613,760円
コール・ローン等	1,091,265,444
投資証券(評価額)	31,072,637,463
未 収 入 金	106,710,853
(B) 負 債	675,816,788
未 払 収 益 分 配 金	481,362,267
未 払 解 約 金	27,250,157
未 払 信 託 報 酬	166,369,201
その他未払費用	835,163
(C) 純資産総額(A-B)	31,594,796,972
元 本	8,914,116,072
次 期 繰 越 損 益 金	22,680,680,900
(D) 受 益 権 総 口 数	8,914,116,072口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,444円

※当期における期首元本額8,674,425,096円、期中追加設定元本額1,115,819,112円、期中一部解約元本額876,128,136円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当 期
	540円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

■ 損益の状況

(自2021年4月6日 至2022年4月5日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	514,585,319円
受 取 配 当 金	515,317,569
受 取 利 息	2,497
支 払 利 息	△ 734,747
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	4,671,957,241
売 買 損 益	5,137,896,540
売 買 損 益	△ 465,939,299
(C) 信 託 報 酬 等	△ 325,412,015
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	4,861,130,545
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,164,241,576
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	8,136,671,046
(配 当 等 相 当 額)	(9,652,379,629)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,515,708,583)
(G) 合 計 (D+E+F)	23,162,043,167
(H) 収 益 分 配 金	△ 481,362,267
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	22,680,680,900
追 加 信 託 差 損 益 金	8,136,671,046
(配 当 等 相 当 額)	(9,652,379,629)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,515,708,583)
分 配 準 備 積 立 金	14,544,009,854

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	482,304,447円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	4,378,826,098
(c) 収益調整金	9,652,379,629
(d) 分配準備積立金	10,164,241,576
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	24,677,751,750
1万口当たり当期分配対象額	27,683.90
(f) 分配金	481,362,267
1万口当たり分配金	540

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

● 投資方針等

ファンド名	バンガード・グロース・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
運用目標／投資対象	パッシブ運用（インデックス運用）され、米国成長株のインデックスである CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ・一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。
決算日	毎年12月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用 ^{※1}	年0.04%
購入の可否 ^{※2}	日本において一般投資者の購入が可能です。

※1 管理費用とは各ETFの運用管理費用およびその他費用を各ETFの平均純資産総額で除したもので、本書の数値は各ETFの直近の目論見書等で開示されているものです（以下同じ。）。

※2 外国籍のETFは、海外の上場有価証券を取り次ぐことのできる証券会社を通じて、日本国内の一般の投資者が、直接、購入することができるものがあります。直接購入される際は、売買委託手数料（証券会社ごとに異なります。）がかかります。また、円貨と外貨を交換する際に、証券会社が別途定める手数料がかかります（以下同じ。）。

ファンド名	バンガード・バリュース・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
運用目標／投資対象	パッシブ運用（インデックス運用）され、米国割安株のインデックスである CRSP US ラージ・キャップ・バリュース・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・バリュース・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ・一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。
決算日	毎年12月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用	年0.04%
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

三井住友DS・海外株式ETFファンド

ファンド名	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
運用目標／投資対象	パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。 為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。
決算日	毎年10月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用	年0.08%
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

ファンド名	バンガード・エマーゼィング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
運用目標／投資対象	<ul style="list-style-type: none"> パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSEエマーゼィング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。 通常概ねすべて（最低でも95%）の資産を、インデックスを構成する株式銘柄に投資します。
インデックス運用手法	インデックスを構成する株式のうち、代表的な銘柄を保有します。
ベンチマーク	FTSEエマーゼィング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。 為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。
決算日	毎年10月31日
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
申込手数料	ありません。
管理費用	年0.10%
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

※CRSP US ラーゼィ・キャップ・グロース・インデックスおよびCRSP US ラーゼィ・キャップ・バリュエ・インデックスはシカゴ大学証券価格調査センター（CRSP）、FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックスおよびFTSEエマーゼィング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスはFTSEインテァナシヨナル・リミテッドが、それぞれ公表している指数で各社の知的財産です。

※指数を公表する各社は当ファンドの運用と何ら関係ありません。

※ベンチマークは一般的に同じ市場を測定する他のインデックスに変更される可能性があります。

●直近決算概要

バンガード・グロース・インデックス・ファンド（E T F・シェアクラス）

（計算期間：2021年1月1日～2021年12月31日）

組入上位銘柄

（基準日：2021年12月31日）

銘柄名	組入比率
Apple Inc.	11.7%
Microsoft Corp.	10.7%
Alphabet Inc.	7.0%
Amazon.com Inc.	6.1%
Tesla Inc.	3.6%
Meta Platforms Inc.	3.4%
NVIDIA Corp.	3.0%
Home Depot Inc.	1.8%
Visa Inc.	1.5%
Mastercard Inc.	1.3%
全銘柄数	279銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.04%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

バンガード・バリュー・インデックス・ファンド（E T F・シェアクラス）

（計算期間：2021年1月1日～2021年12月31日）

組入上位銘柄

（基準日：2021年12月31日）

銘柄名	組入比率
Berkshire Hathaway Inc.	2.9%
UnitedHealth Group Inc.	2.6%
JPMorgan Chase & Co.	2.6%
Johnson & Johnson	2.5%
Procter & Gamble Co.	2.2%
Pfizer Inc.	1.8%
Bank of America Corp.	1.7%
Broadcom Inc.	1.4%
Exxon Mobil Corp.	1.4%
Abbott Laboratories	1.4%
全銘柄数	355銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.04%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド

(E T F・シェアクラス)

(計算期間：2020年11月1日～2021年10月31日)

組入上位銘柄

(基準日：2021年9月30日)

銘柄名	組入比率
Nestle SA	2.7%
ASML Holding NV	2.4%
Roche Holding AG	2.1%
AstraZeneca plc	1.5%
LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1.4%
Novartis AG	1.4%
Royal Dutch Shell plc	1.4%
Novo Nordisk A/S	1.2%
SAP SE	1.2%
Siemens AG	1.0%
全銘柄数	1,352銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.08%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

(E T F・シェアクラス)

(計算期間：2020年11月1日～2021年10月31日)

組入上位銘柄

(基準日：2021年9月30日)

銘柄名	組入比率
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	6.3%
Tencent Holdings Ltd.	4.5%
Alibaba Group Holding Ltd.	3.3%
Meituan	1.6%
Reliance Industries Ltd.	1.4%
Infosys Ltd.	1.0%
China Construction Bank Corp.	0.8%
Housing Development Finance Corp. Ltd.	0.8%
Vale SA	0.7%
Wuxi Biologics Cayman Inc.	0.7%
全銘柄数	5,229銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.08%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。